

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2020/11/27
所属学部・ 研究科・学府	文学部
所属学科・専攻	人文学科国際言語文化学コース

1. 留学先について

留学先大学名	Université de Paris Est-Créteil (パリ東大学)							
留学先所属学部等	Faculté des Lettres, Langues et Sciences Humaines (人文学部)							
留学期間	出発日	2019/9/4	入学日	2019/9/9	修了日	2020/6/14	帰国日	2020/3/17
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	その他()					
	通学時間	約5分					On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	() 人部屋	その他()				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> リビング	その他()	
食事	自炊	80 %	学食	5 %	外食	15 %	その他	() %
保険	海外旅行保険(名称)							
	派遣先大学指定の保険(名称)	l'Assurance Maladie (étudiant étranger ameli)					<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他	住宅保険 (ADH assurance habitation étudiant)						
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	羽田 ⇄ シャルル・ド・ゴール(飛行機) ⇄ Créteil Université (バス、メトロ)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,600,000 円							
出どころ								
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円		
援助	両親	800,000 円	家族・親戚	円	その他	円		
奨学金	JASSO	800,000 円	その他名称 ()	円				
その他	その他()							円

2-1. 財政管理の方法

渡航時		現金	6万 円	その他()	円
留学中	✓	海外送金	✓	キャッシング	その他()

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金、またはクレジットカードで。
住居にかかった費用	全額、クレジットカードで。
その他	現金、またはクレジットカードで。

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			600,000	円
海外旅行保険			0	円
OSSMA			29,700	円
査証・在留許可証	ユーロ	60		円
住居	ユーロ	2,590		円
食費	ユーロ	1,260		円
通学に要する交通費	ユーロ	175		円
教科書、教材費	ユーロ	200		円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費	ユーロ	60		円
その他 (携帯)	ユーロ	160		円
その他 (旅行)	ユーロ	900		円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、 聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無		
			有	✓	無
1 Littérature française du 19ème siècle	正規	3	有	✓	無
2 Stylistique	正規	3	有	✓	無
3 Introduction à la littérature comparée	正規	2	有	✓	無
4 Stylistique de la prose	正規	3	有	✓	無
5 Expression écrite (前期)	正規	1	有	✓	無
6 Expression écrite (後期)	正規	3	有	✓	無
7 Compréhension écrite	正規	1	有	✓	無
8 Expression oral	正規	1	有	✓	無
9 Initiation aux Beaux-Arts	正規	3	有	✓	無
10 Histoire phonique et graphique du français	聴講		有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

【選択方法】シラバス閲覧について:パリ東大学文学部の公式HP(<https://lsh.u-pec.fr/>)>Scolarité> Livrets de l'étudiant>L2/L3 Lettres を選択すると、シラバスのPDFをダウンロードできます。同じく Scolarité>Emplois du tempsから学科学年別で週ごとの時間割を閲覧できます。

【登録方法】留学前の5月ごろに、留学中に取りたい授業の仮登録用紙(contrat d'études préalable)を書いて、千葉大学留学生課のサインをもらい、現地大学のコーディネーターに送りました。渡航後に留学手続きを完了する際にコーディネーターや学生チューターと相談しながら実際に取りたい授業を決め、確定版の登録用紙(contrat d'études)を提出します。留学生向けの語学授業や一般教養の講義も同じ用紙で、前期後期でそれぞれ出します。

3-2. 授業内容、方法に関して

基本的に板書は少なく、先生の話す量が多かったです。プリントなどの補助教材が配られるので、シラバスに記載されている参考文献や教科書を持っている学生は少なかったのですが、復習や内容理解のためにはあったほうが便利でした。

コーディネーターからは、1年生の授業は大教室のものが多く、先生から適切なサポートを受けづらいことや内容が基礎的なものであることから、2・3年の授業を取ることを勧められました。しかし、前期に3年生の授業を取った感想としては、内容がかなり専門的であったり、フランス語の聞き取りや理解も不十分だったために、授業についていくのが大変でした。2年生向けの授業には他の留学生も多く参加していて、先生も留学生を意識してサポートしてくれていたため、理解し易かったです。

COVID-19の影響でキャンパスが閉鎖されてからは、moodleに似たEprelというプラットフォームやzoomなどを通してオンライン授業を受けました。

3-3. 語学力について

留学前にTOCFのB1を取っていたのですが、留学期間全てを通して語学力の不足を痛感しました。そんな中でも会話とディクテーションのスキルは留学前に比べて上がったと思うので、これからも学習を続けていきたいと思っています。

語学力向上のために、フランス人学生と互いの言語を教えあうタンデム制度を利用しました。授業では現地の学生と交流することがなかなかできなかったのですが、フランス語で話したりチャットしたりする機会になりましたし、留学後も度々連絡を取り合う良い関係を築くことができました。また中国人のルームメイトも私と同じ学部学科に留学していて、言語レベルもほぼ同じだったので、当初は英語で意思疎通していたのですが、途中からフランス語に切り替えて生活しました。日常的にフランス語に接することで、フランス語でのコミュニケーションを積極的にできるようになったと思います。

3-4. 図書館など学内施設について

キャンパスごとに図書館があり、プリンターなども使うことができます。食堂もキャンパスごとにありますが、私が通っていた中央キャンパスの大きな食堂は年明けまで改修工事をしていたためあまり使うことはありませんでした。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

CROUSという大学生協のような組織の学生寮に入っていました。パリ東大学は留学生を多く迎え入れているからか、入居しているのは外国人が多い印象でした。玄関に二重ロックがかかっているものの時々何かの勧誘などで入ってくる人もいたので、少し部屋を離れる時でも施錠するようにしていました。冷蔵庫や机などの家具は一通り揃っているのですが、部屋によって備品にかなり差があるので、足りないものは買い足す必要があります。

4-2. 食生活について

パリの外食は特に高いので、なるべく自炊するようにしていました。ルームメイトと交代で食事を作ったり、余裕がないときは学食やファストフードなどを利用していたのであまり負担はありませんでした。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮や大学ではそれぞれWi-Fi環境が整っていました。携帯電話も月100Gのプランを契約していたので全く不都合はなかったです。

4-4. 服装について

日本よりも全体的に寒く感じました。あまり服を持っていかなかったのが、量販店や古着屋などで服を買い足しながら過ごしました。室内(寮は特に)はセントラルヒーティングでとても暖かいので、温度調節できるような服を着ていました。

4-5. 健康管理について

軽い風邪を引いた以外は、ほとんど健康に過ごすことができました。12～2月ごろは日がとても短くなったこともあり、ビタミン剤を飲んでいたときもあります。
大学に無料で受診できる保健室がありますが、結局1度も利用しませんでした。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

現地で加入した学生保険もOSSMAも利用しませんでした。

4-7. 課外活動について

文学部の留学生プロジェクトに前期後期とも参加しました。授業ではあまり他の学生と関わることができなかったのも、交流の良い機会になったと思います。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特にありませんでした。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ヒートテックやマフラーなどの防寒具、またドライヤーなどの小さな家電(現地でも売っていますが、1年未満で使い捨てるのはもったいないと考えたため)。
3年次論文を書く必要があったため、必要になりそうな日本語文献を持っていきました。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

留学経験者からフランスの筆記用具は使いにくいと聞いたため、余分にペンなどを持っていきましたが不要でした。
またカイロも途中まではとても重宝していて、親からも送ってもらったりしたのですが、12月からの交通機関のストライキのせいであまり出歩かなくなったためほとんど使わなくなりました。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

スーパーや駅の窓口など、人と関わる時には必ず最初に挨拶して、最後は「ありがとう、さようなら」と別れるのが日本とは違うところだなと実感しました。挨拶から始めないとほとんど対応してくれないようなときもあります。また傾向として、英語で話しかけるよりも多少たどたどしくてもフランス語で伝えた方が、やさしく対応してくれる人が多い気がしました。
親しい間柄ではビズをすることもあります。アジア系はそうした接触到に慣れていないことを理解しているフランス人も多いので、無理強いされることはありませんでした。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

・ストックホルム(スウェーデン)11月(2日間)、約2万円。
 ・レンヌ、モンサンミッシェル(フランス)11月(2日間)、約2万円。
 ・コルマル、ストラスブール(フランス)、シュトゥットガルト(ドイツ)12月(3日間)、約3万円。
 そのほかパリ近郊に日帰りで遊びに行ったりしました。

その他 *気分転換やストレス発散法など。

パリ中心部を散策したり、映画を見に行ったり、友達とホームパーティをしたりしました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

パリ郊外に位置していて、中央キャンパスはメトロ8番線のほぼ終着地点が最寄り駅です(Créteil-Université)。
 留学生は多いものの、ほとんどがヨーロッパの学生で、あまりアジア系は見かけませんでした。
 テロ対策で図書館に警備員が常駐しているなどカルチャーギャップな点もありますが、学生はみんな真面目で先生も熱心なので勉強しやすい環境だと思います。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

自分からなんでも動いていかないと、必要な書類を入手できなかったり、生活で苦労することになったりするので、物怖じせずコミュニケーションを取る姿勢が大切だと思います。事務的な手続きなどでかなり適当な扱いを受けることも多くてカルチャーショックを感じることもありますが、諦めずに交渉してみてください。あとは、現地で友人をつくと色々な相談もできるし余暇も楽しく過ごせるのでオススメです。留学頑張ってください！

5-3. 留学を終えて

COVID-19の影響でおもわぬ幕切れとなってしまったのですが、全体的にはとても充実した留学生活を送ることができました。授業に思ったよりついていけなかったり、フランスの社会情勢が悪かったりと準備している時に想像していたのとは違うことが多かったものの、すべて貴重な経験です。
 留学を終えて、フランス文学やフランスで発展した文学理論など、現地ならではの授業を受けて自分の専門知識を深められたのはもちろん、外国人として半年弱暮らしたことで、より大きな視点で物事を捉えられるようになったのではないかと思います。現地の友人との繋がりもできましたし、これからもなんらかの形でフランスに関わっていきたいと考えています。
 今まで支援してくださった皆様、ありがとうございました。